

いにしえ倶楽部連続講座

石見の古墳 VS 出雲の古墳

—しまねの古墳発掘最前線—



日時：令和5年6月17日（土）

9:30～12:00

会場：島根県芸術文化センター グラントワ
多目的ギャラリー（益田市有明町5-15）

定員：50名

報告1 名分丸山1号墳
—県内最古級の前方後方墳の調査—
吉松優希（島根県古代文化センター）

報告2 五反田1号墳
—徹底解剖！竪穴式石室の解体—
松山智弘（島根県埋蔵文化財調査センター）

報告3 スクモ塚古墳・大元1号墳
—日本海沿岸の大首長墳の調査—
佐伯昌俊（益田市教育委員会文化財課）

近年島根県では、県内各地の古墳調査にめざましい成果が上がっています。

益田市ではスクモ塚古墳が県下最大の前方後円墳（約96m）であることが確認され、石見地域のなかでも大型古墳の集中するエリアとして注目されます。また出雲でも、県内最古級の前方後方墳・松江市名分丸山1号墳（約40m）で詳細な形状と埋葬施設の数が明らかになり、安来市五反田1号墳では石室の解体調査によって構築方法の特徴を把握することができました。

今回のいにしえ倶楽部では、日本海沿岸に造られた古墳時代前期から中期初頭（4世紀代）の古墳に焦点を当て、そこに葬られた石見・出雲の豪族たちの姿を解き明かします。

●申し込み方法

はがき・電話・FAX・Eメールのいずれか

①参加者氏名（同伴者も）

②電話番号

「6 / 17 連続講座申込」と添えて申し込みください

●問い合わせ／申し込み

島根県埋蔵文化財調査センター 管理課

TEL：0852-36-8608

FAX：0852-36-8025

Email：maibun@pref.shimane.lg.jp

※講座の様子は島根県公式 YoutubeCH で公開予定！

